

パシャ・ホールディング ～当国最大の財閥～

1. パシャ(Pasha)ホールディングはアゼルバイジャンにおける最大規模のビジネス・グループ(財閥)です。アリエヴァ第一副大統領(アリエフ大統領夫人)の実家パシャ家がオーナーで、近年急成長を遂げつつあります。事業内容は、金融(銀行・保険)、建設・不動産(バクー市内ポート・バクー、同シティ・ビラ、郊外保養地ビルギヤ・ビラ等)、旅行・観光、小売(ブラボー・スーパー)、農業、外食(レストラン30店舗)、児童娯楽施設など多岐にわたり、常に新規事業を開拓しています。海外展開も進めており、ジョージア、トルコ、モンテネグロに事業資産があります。
2. パシャ・ホールディングは、これらの新規事業開拓や業容拡大に伴い、優秀なビジネス人材を登用してマネジメント層を刷新し、欧米流のガバナンス・経営手法を導入しています。CEO のジャラル・ガスモフ氏は40歳代半ばの若手経営者で、国家経済大学卒業後、英国でMBAを取得、コンサルティング(マッキンゼー)、金融等のキャリアを経て、15年にパシャグループ入りし、19年 CEO に就任しました。
3. ガスモフ CEO 自身、社員の教育、人材育成を最も重視しており、「社内若手に新規事業の立ち上げを資金調達も含め自力で行わせ、ビジネス(さらには人生)の困難を乗り越える能力を修得させている」とのことです。「人材育成は国家レベルでも重要な事柄であり、政府が2005年から15年まで石油基金を活用して若手の欧米留学を積極的に取り進めた結果、これらの人材が現在、非石油ガスの様々な新規分野でビジネスを展開しつつある。」(同 CEO)
4. 日本企業との事業提携の可能性について、ガスモフ CEO は「素晴らしい話」と語っています。「我が国はまだ課題は多いものの、次世代に向けた成長の先行きに明るい希望が持てるという認識。そのような中で日本との関係を深めることは極めて有意義だと思う。日本企業の信頼性、製品・サービスの質の高さは夙に有名であり、日本企業からの提案はどのような分野、事業であっても歓迎。例えば保険、旅行分野での協業についても望むところである。具体的なアプローチをお待ちしている。」(同 CEO)

(参考)パシャ・ホールディング HP <https://pasha-holding.az/>

日本企業からの連絡窓口 (先方へは「日本大使館の紹介」とお伝えください)

Mr. Nariman Sardarly; CEO of PASHA Investments

+994-50-675-0170 (mobile, WhatsApp)

(以上)